

行政視察等報告書

平成28年2月16日

米子市議会議長様

会派名 希望
代表者氏名 国頭 靖
提出者氏名 国頭 靖



下記のとおり報告します。

記

項目	<input type="checkbox"/> 現地調査 <input type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input checked="" type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参加者 国頭 靖
期日	平成28年2月4日から平成28年2月5日まで
〔概要〕（年月日・場所・内容） 場所：アットビジネスセンター東京駅八重洲通り （東京都中央区八丁堀1-9-8八重洲通りハタビル） 内容：2月4日（木）「地方分権時代における議会改革 in 東京」 講義：「議員が提案する政策条例のポイント ～政策条例を実現する視点の提供～」 2月5日（金）「役所を動かす質問の仕方」 講義：「よりよい一般質問のために【応用編】」
〔所感〕 別紙のとおり
経費	旅費総額 96,536円

研修報告 会派 希望 国頭靖

議員が提案する政策条例のポイント～政策条例を実現する視点の提供

2月4日（木）10：00～12：30 於：東京駅八重洲通りアット
ビジネスセンター

主催：地方議員研修会 講師：一般財団法人地域開発研究所 牧瀬 稔

まず、①自治体議会の役割の再確認②ユニーク条例の紹介③条例づくりの基本的な流れを順に伺った。議会に求められる大きく2つの機能として執行機関の監視機能と政策の立案機能があり、普段議会により執行部のチェックはしているが、もう一つは全国でも議員提案の条例が作られている議会は最近では2割から3割になりつつあり、今後議員提案の条例づくりは重要となると考える。全国の自治体のユニークな条例を紹介されるがその地域ならではの条例も多くあり、地元の事情もよく分析する必要もある。条例づくりの流れでは上位法令に抵触しない作り方をし、注意を払う考え方、他都市を参考にというものだった。私も条例を作るべきと提案した分野もあり、この研修を機に実際に取り組んでみたいと考えた。

役所を動かす質問の仕方 よりよい一般質問のために（応用編）

2月5日（金）14：00～16：30 於：東京駅八重洲通りアット
ビジネスセンター

主催：地方議員研修会 講師：樋渡 啓祐 元佐賀県武雄市長

初めに市長として受けたよい質問と悪い質問では導入から提言まで具体的な数字、切実さ、先進事例等を加えることで質問への共感を呼ぶこと等、かつて執行部側から議員質問を受けて感じていたことを伺った。一般質問と政策実現の関係ではやはり説得力や実現可能性の事を言及されていた。効果的な質問、役所を動かす質問では多くの街の成功事例を学び、制度を取り入れ利用することだと認識した。ツタヤ図書館等在任中に多くの斬新な事業に挑戦され、実績を残された元市長ならではの市民への思いやまちづくりへの思いも聞け、思いを質問に乗せていくこともまた必要なことであると改めて感じた。今後、しっかりと質問に取り入れて参りたい。